

科研費シンポジウム

空間データと災害の統計モデル

日時： 2019年1月26日(土)～27日(日)

場所： 同志社大学今出川キャンパス至誠館3階会議室

科学研究費・基盤研究(A)「拡張された空間点過程と災害の数理モデル」

研究代表者：鎌倉稔成(中央大学) 課題番号(26240003) によるシンポジウム

1日目 2019年1月26日(土)

12:30 受付開始

13:00～14:20 セッション I

座長：大草孝介(九州大学)

研究の総括と方向 鎌倉稔成(中央大学)

ベイズ推定による地震のリアルタイム監視予測システム 溜瀨功史(気象研究所)

平成30年台風第21号時のツイートの可視化～台風の進路とツイートの関係～ 山田実俊・宇津圭祐・内田 理(東海大学)

Echelon 構造を利用した空間複雑性の評価 梶西将司・石岡文生・栗原考次(岡山大学)

14:20～14:40 Coffee Break

14:40～16:00 セッション II

座長：富田 誠(東京医科歯科大学)

屋内位置推定のための統計モデルと対象の状態推定に関する研究
～災害時避難誘導を見据えて～ 大草孝介・武尾信之介(九州大学)・鎌倉稔成(中央大学)

地名と災害頻度との関連性について 春日井海・鎌倉稔成(中央大学)

Thermal anomalies と地震の関係性について 北澤健斗・鎌倉稔成(中央大学)

救急蘇生統計(ウツタインデータ)の分析 山本義郎・山田実俊・尾関智子・福井啓太・梅澤和夫・猪口貞樹(東海大学)

16:00～16:20 Coffee Break

16:20～17:40 セッション III

座長：宿久 洋(同志社大学)

位置情報 AR アプリによるユーザの空間集積と隣接情報の活用 富田 誠(東京医科歯科大学)

災い転じて票となす 福元健太郎(学習院大学)・菊田恭輔(テキサス大学オースティン校)・柳 雅人(元学習院大学)

非負値テンソル因子分解を用いたゲリラ豪雨パターン抽出の試み 阿部寛康(京都大学)

気候モデルから得られる多数のアンサンブルデータを用いた確率降水量の推定に伴う不確実性 .. 北野利一(名古屋工業大学)

17:40～ 総合討論

18:30～ 懇談会

2日目 2019年1月27日(日)

9:30 開場

10:00~11:20 セッション IV

座長：山本義郎（東海大学）

- 熊本地震関連死認定の市町村による違い
福元健太郎（学習院大学）・早坂義弘（東京都議会）
- 土砂被害領域を特徴づける楕円の長軸・短軸の分布とその推定
作村建紀（法政大学）・鎌倉稔成（中央大学）
- 雨量と河川流量の関係についての統計モデル
阿部 興（名古屋大学）
- 高層循環場と時系列情報を用いた気候モデルと気候変化予測
小椋 透（三重大学）

11:20~11:35 Coffee Break

11:35~12:55 セッション V

座長：鎌倉稔成（中央大学）

- 災害認知：リスク認知と DNN から
柳本武美（統計数理研究所）・大草孝介（九州大学）
- 統計情報可視化システム MESHSTATS と世界メッシュ統計の応用
佐藤彰洋（京都大学）
- 日本列島における発震機構を用いた ETAS モデルの拡張
蒔田恵理（総合研究大学院大学）・庄 建倉（統計数理研究所）
- 首都圏直下の地震活動と予測
尾形良彦（統計数理研究所）

12:55 閉会の挨拶